

新潟シティガイド

NO. 19号

《編集発行》

新潟シティガイド

《発行人》

八木 洋

活動七年目を迎える「新潟シティガイド」さんへ

新潟市教育委員会生涯学習センター・中央公民館事業係



丸山 夕香さん

「新潟シティガイド」第一期生、第二期生のみなさんご無沙汰しています。第三期生のみなさん、はじめまして。今回、「新潟シティガイド」の立ち上げ時のことを」ということでお話をいただき、当時を思い出しながら書きました。

私が「新潟シティガイド」に関わったのは、もう八年も前のことです。当時、新潟市の観光交流課（現観光政策課）では、観光ボランティアガイドを新潟市につくろうというプランが持ち上がりました。下町には湊町の歴史を語るものがたくさんあるのに、それを伝

える人がいない。新潟市民にも、観光客にもその良さを伝えられることができれば、新潟にもっと多くの人が来てくれるようになる、という構想からでした。

さて、担当となったものの、ガイド育成の実績はなく、知識もノウハウもないのが実情でした。講師や講座運営の方々の助けを借りながら、手さぐりで「みなとまち新潟観光ボランティアガイド養成講座」を企画しました。受講者募集開始の当日、「申し込み希望者はいるの？」という不安が大きくなり、朝から電話が鳴りやまず、わずか一時間足らずで募集定員をオーバーするという結果となりました。

そんな、勢いのある第一期生ですから、講座が始まってからも主催者側の予想を大きく超え、講座が終わると次の講座までの間に個人または受講者同士で下町を五回、十回と歩き、どんどん知識と経験を蓄えていくという頼もしい方々で

した。おかげさまで、第一期生の講座はなんとか無事に終了しました。

でも、本当に大変なのはここからでした。これからどうやって活動していくのか？、広報は？、受付は？、会の名前は？、費用は？、問題は山積みでした。受講者の中から十人ほどの世話人で案を作り、会員の全体会議に図って承認をとるという作業が約半年間続きました。世話人会議は十回近く、全体会議も月一回開催しました。その一方で各個人が学習を重ね、講師の方からもたくさん資料を提供いただき、案内コースを作り上



案内コースの検討

げていきました。「新潟シティガイド」は会員の方の強い思いと、講座が終わってからも関わり続けてくれた周りの方々の温かい支えにより出来た結晶でした。そして、今日までその熱意と努力がつながり、なにより新潟のまちとガイドが大好きな気持ちで、今の「新潟シティガイド」をつくっているのだと思います。

その後、私の所属は変わりましたが、やはり各種メディアや街の中のガイドさんたちの活躍は気になります。楽しそうに、自信を持って新潟のまちを紹介している姿をみて嬉しくなります。会話の中で「新潟シティガイド」の話題があがると、自然と力が入り、PRしちゃっています。

まち歩きの楽しさを「新潟シティガイド」から教わった市民、第一号(?)として、これからもずっと応援しています。



齋藤 勝子

ガイド 日記

私の思いでガイド日記

私がガイドを始めたのは六年前の四月からで、多数の方々を案内させて頂きまわった。その中で印象に残っているお客様を、少し紹介してみよう。

○女性のお客様を案内する事が多く、その中でも大変に旅慣れた方で、到着された日には本町の銭湯でゆっくり入浴し、古町演芸場の夜の部を鑑賞したと言われて、私は「ワア旅の楽しみ方を熟知しておられる」と感心した次第で、ガイド中も楽しく話が弾みアツという間の二時間でした。

○東日本大震災で津波の被害に遭われた福島県いわき市から前日新潟マラソンに参加された父娘のお客様は六軒小路を通っている時に「ワクワクするなあ」と叫ばれたのです。知らない街の細い小路というのは、子供の頃の冒険心を目覚めさせるのではないのでしょうか。私もワクワクガイドが出来て、今も思い出す度にフツ

と楽しい気持ちになります。埼玉からの女性一人旅の方は、お母様の介護中でストレス解消の為に、ご主人が一泊の旅を薦めてくれたというのでした。介護が大変なことは私も経験しておりましたが、少しでも心が休まるようにと気をか



人情横丁鮮魚店

けながら新潟の歴史や古町通の老舗や本町の市場など案内し、笹団子をたった一個でしたがご馳走しました。勿論笹団子についての説明付きで、食べ終わったら笹をスゲで縛るところまで。帰りのお土産には笹団子を買われたそうです。今年も年賀状を頂きました。

○札幌からご主人が新潟の会議に出席の為に一緒に花街中心にガイドしながら加島屋へ。何か新潟の珍しい食べ物はないかと、「赤ひげの佃煮」を薦めました。赤ひげの佃煮は「赤ひげって何ですか」と聞かれ、別名「沖あみ」ですという。「それは珍しい」と購入され、もう一泊されるということから「赤ひげの佃煮」はご主人の晩酌のお供になったのではと思っています。

又、旅で忘れられないのは、その土地の人々と話をした方言の温かさです。もつと新潟弁で話し、ローカル色の濃いガイドを目指したいと思っています。

なじらったろっか。

お客様のガイド日記



勝見 進

昨年十一月末、新潟市中学校教育研究部国語部に所属する先生を担当しましたが、そのガイド模様が「国語部」機関紙「はまなす」第九十一号に掲載されたので紹介します。



「私の知らなかった新潟市」
小須戸 中学校

五十嵐 尚己 先生

今回の分野別研修は、「作家を育んだ新潟の町を探る」でした。二葉中学校を出発し、海岸沿いの砂丘を歩き、たくさんの文学碑や像を見学し、最後は曾津八一記念館を巡る研修でし

- ① 竹内式部座像：名前が聞いたことがありましたが、本町の出身とは知らなかった。
- ② 日本海展望の橋：ここは何度か渡った事があるが、この日は寒くてパス
- ③ ドン山：これは有名。あまりにうるさいので、海に向けたとは知らなかった。
- ④ 曾津八一：みゆきつむ まつのはやしをつたいきて まとにさやけき やまからのこゑ いいですね
- ⑤ 川村奉行像：初代新潟奉行：知らないかった。
- ⑥ 良寛歌碑：これは知っていました。
- ⑦ 曾津八一中宮寺姉妹碑：遷都千三百年記念で

- ⑧ 建てられたらしい。八木朋直の胸像：四銀行頭取や新潟市長、だったらしい。
- ⑨ 芭蕉堂：これも知っていた。でも一周したことはなかった。



西海岸公園 芭蕉堂

- ⑩ 坂口安吾の碑：これも知っていたが、「ふるさととは語ることなし」意味が深いなあ
 - ⑪ 砂山の碑：これも有名ですね。
 - ⑫ 戊辰の役受難者墓苑：この存在は知らなかった。
 - ⑬ 曾津八一記念館：入った事はあるが、学芸員さんから詳しく説明していただいたの初めて。八一の書いた看板も珍しかった。
- 非常に内容の濃い研修となりました。次回は多くの方が参加してくれることを望みます。

立ち寄り

地盤沈下測候所



若杉 明

本町十三番町の「あけぼの公園」と、西堀通五番町の「むつみ公園」の一角に、物置小屋のような小さな小屋があるのをご存知かと思えます。

これは市内九ヶ所に設置されている「地盤沈下測候所」のうちのひとつです。毎年三月に県地盤沈下調査連絡協議会から発表される数値では、東区松浜町が一昨年最大二・三cmの沈下が記録されました。市の中心部では近年おさまっているようです。



「あけぼの公園」地盤沈下測候所

地盤沈下は消雪パイプを多く利用する魚沼地方のイメージがありますが、地盤は生き物であり、まったく変動しないということはないようです。市内の堀が埋め立てられたのは、地盤沈下により、水がきれいに流れなくなつたのが主要原因と
か。
地味ながら、記録をとつて、早目の対策に貢献している「測候所」にエールをおくりたいと思います。

老舗イタリア軒の物語



関 克人

このところ、私のガイド出動は、ほとんどホテルイタリア軒が経路になる。老舗イタリア軒は、古町花街と、お屋敷町を結ぶ重要スポットとして、案内に力が入るところだ。

まずは、フロントの女性にお客さんにご案内したいのですがよろしいでしょうか」と声をかける。いつも笑顔で「どうぞ」と返ってくるのが嬉しい。フロントに空きがあるときは、備え

のチラシを配っていただくことさえある。
すでに興味しんしんのお客さんに、イタリア軒創業の物語とその後の変遷をお話しする。「へーえ」という顔になつたらしめたものだ。
創業者のピエトロ・ミリオレのこと、新潟の鹿鳴館と称されたこと、新潟で初めてエレベーターが設置されたことなどを案内する。



初代 イタリア軒

最後にはホテルの宣伝。いつも快く迎えていたくださる礼は欠かせない。

昭和の市民文化の記憶



横山 幸子

昭和の音楽芸能文化の拠点「白山セントラルパーク」四月、桜の森の満開の

下を歩き音楽文化会館、市民芸術文化会館（りゅうとぴあ）が見渡せる空中庭園で静かに目を閉じてみる。



空中庭園

こうしていると半世紀以上も前の新潟市民のラ・フォルジュルネ「熱狂の日々」？が見えてくる、聞こえてくる、拍手の高まりも。そして臉のスクリーンいっぱい、白亜のアールドコ建築の市公会堂が姿をあらわします。

市民芸術文化会館の前身でもある市公会堂は、日本の石油王と言われた新津恒吉翁が私財四十五万円を市に寄付した事により、昭和十三年に完成を見ました。千円で家が建つ時代でした。また、大正・昭和初期より音楽指導者、愛好家たちを中心に公共施設の建設を求めめる声があがっていました。そんな中、新潟市の音楽文

化史上における大きな柱的存在の斎藤正直氏が、当市にまだ誇れる演奏会場がないことから公会堂の建設を求め、自ら世界的なオペラ歌手の藤原義江氏等、友人の著名演奏家を呼んで演奏会を開き、純益金を寄付するなど推進に尽力されたそうです。

鉄筋コンクリート三階建て、気品のある大きな舞台と千二百席のホールに音響照明、映写装置に加え冷暖房設備もありました。また館内には県出身の画壇の巨匠、中堅作家から寄贈された多くの素晴らしい美術作品が飾られ、あたかも美術館のようだったそうです。

平成六年までの五十六年間、市民に愛され数多くの文化的行事を開催し続けた「文化の殿堂」はその大きな使命を立派に果たし、平成の「今」につなげました。現在と変わらぬ熱く感じ、踊り、歌い、奏で、観、感動の出会いを重ねてきた多くの先人の方々の想いがこの白山セントラルパークで



公会堂前にあった平和像

花開き豊かに実っています。今日もそんな皆さんに「ブラボー」。
私の「昭和の市民文化の記憶」をたどる散策はこんなことを思いながら始まつたところでした。

副館長の おもてなし

当会員であった山崎氏は現在、ガイドポイントの県政記念館に勤務されています。そこでその記念館のPR文を寄稿して頂きました。



副館長 山崎 雄氏

こんにちは、日頃、新潟県政記念館へのご理解とご利用を頂きありがとうございます。

当館はクラシカルな明治という時代を呼び起こすような言葉がびったりと決まるとたまたまい、新潟島で一番明治を感じさせる建物ではないでしょうか。

館内資料室の写真六枚を使った江戸から明治を感じさせる新潟島のパノラマ写真の一枚は、川幅が八百メートルあった大河信濃川、



小学生による模擬議会

初代萬代橋を挟んで上流側に材木屋が並び、下流側には北前船の時代を思わせる回船問屋の蔵、真中に新潟町のたたずまい、奥に防風林などが見ることができず。他の掲示写真も使い明治・大正・昭和初期の新潟町の歴史のお話ができます。二階傍聴人控え室の楠本県令展示ブースで強権的な部分を交えての新潟の町づくりにや渡辺梯輔事件の処理、その後全国に先駆けていち早く新潟で議員活動が盛んとなり県会へと進む過程など。議場へ初めて入館された大半の方は驚きと感銘を受ける。それは百三十年前に再現された議場の床、配置された机、イス。そんな中、私は来館者に議員席に座ってもらい、当時の議員の熱意を感じてもらいます。併せて隣の白山公園の深い

- 「えんでこ」のお客様は通常ガイドの35%を占めています。
 - 基本コースの一位は西大畑でした。下町エリアは、ベスト五に三コース入っています。
 - 平成二十五年度のガイド実績は表の通りです。結果を踏まえ分析してみました。通常ガイドは若干伸び悩んだ感がありますが、来年度はぜひ二千人を突破したいものです。
- は、市内が67%、性別では女性が55%でした。

平成二十五年度ガイド実績

緑も感じてもらいます。音楽家はこの議場でライブを思い立つそうです。ちなみに昨年のイベントは十二回開催、隠れた（隠れる必要はないのですが）人気スポットのようです。

最後に、当館は国の重要文化財という名のもと、冷暖房設備がありません。特に寒い時の来館時は必要以上の防寒をお願いするだけです。

意外と知られておりませんが、駐車場が併設されており気楽に来館する事ができます。多数のご来館を館員一同お待ちしております。

平成25年度 新潟シティガイド実績・分析

全ガイド実績				基本コース別・企画別ベスト 5					
分類		件数	人数	順位	基本コース	件数	人数		
ガイド実績	通常ガイド (500円)	基本コース	下町	38	282	1	西大畑お屋敷コース	24	118
			西大畑	32	146	2	新潟町屋コース	9	108
			白山	20	118	3	下町お店巡りうんめえもんコース	12	67
			沼垂	9	39	4	にいがた湊・歴史散策コース	13	64
			小計	99	585	5	上古町・本町界限今昔物語コース	5	43
	外部企画等	193	1,367	順位	企画別	件数	人数		
	小計	292	1,952	1	えんでこ	32	675		
団体ガイド (出動費)	小・中学(1,000円)	9	354	2	特別企画 (含む豪商の館2館巡り)	20	186		
	官庁・団体(2,000円)	0	0	3	予約のいないまち歩き	86	179		
	小計	9	354	4	旅行社の企画	7	122		
	合計	301	2,306	5	湊まち新潟歴史ウォーク	3	93		

広報からのお願い
 楽しい出会や感動のまち歩き、皆様の投稿を待っています。次は、あなたの番です！！
 HP・チラシがリニューアルされました。有効に使ってください。

丸山夕香氏から、新潟シティガイド草創期における、貴重なお話を投稿頂きました。ガイド活動の原点を見たいです。兎角何事も時間の経過と共に本来の目的を見失う恐れがあります。が、我々も丸山氏の意に對し「脚下照顧」の志を持ちたいものです。

編集後記

日付	対応者	活動内容
1月11日	八木 洋 各エリアチーフ	観光政策課主催、ガイド養成講座にて、「基本コースを学ぶ」を担当
3月22日	間島 勝利 斎藤 勝子	中央区地域課主催、平成26年度「えんでこ」フォーラムへ講師・パネリストとして参加

報道関係等部外対応状況
 平成二十六年一月～三月までの対応状況です。